

平成29年度「市民と議会の対話集会」において後日回答することとした意見交換の
記録及び行政からの回答

①

会場・項目	中津会場 ・ 病院問題
会場での質問・ 回答	質問 ・ 市民病院でがんの患者さんが亡くなったとの記事が新聞に載っていたが、原因が医者の方不足なのか忙しくて患者さんを良く診られないのか原因をはっきりさせないと坂下病院も診療所化されて市民病院に集中していくと益々患者に対する対応が心配だが。 回答 ・ がん患者さんの話はまだ記者会見の知らせを受けた段階で、詳しく内容が分かりませんので詳しい説明がありましたら皆さんにお知らせしたい。
行政の担当部課	総務人事課（市民病院）
行政からの回答	このたびの医療過誤につきましては、患者様受診時の臨床医と組織標本を検査する病理医との診断結果に違いがあり、病理医の診断結果に基づき診療を中止したことから生じたもので、チェック機能が不足していたことが原因と考えております。そのため、再発防止策としてチェック体制を強化しました。今後も皆さまに安心して受診していただけるよう努めてまいります。

②

会場・項目	中津会場 ・ 病院問題
会場での質問・ 回答	要望 ・ 開業医によると市民病院に斡旋した患者さんの結果が返ってこないという意見がありましたので考えて欲しい。 回答 ・ 要望として伝えます。
行政の担当部課	医事課（市民病院）
行政からの回答	開業医様より患者様をご紹介いただいた場合、主治医より「返書」を出させていただくようにしております。 地域医療連携室では、まだ「返書」をお出しできていない紹介患者様分について、主治医に連絡をし、早期にお出しするよう努めておりますので、ほとんどの患者様については回答させていただいております。しかしながら、一部の患者様について「返書」をお出しできておらずご迷惑をおかけしております。今後も早期に確実に回答させていただくよう継続して医師に働きかけをしてまいります。

③

会場・項目	中津会場 ・ 空き家対策
会場での質問・ 回答	質問 ・ 中央公民館南側の家屋が放置されており、環境上よくないと思います。市の対応が悪いのでは。早急に対処して頂きたい。 要望 ・ 空き家については固定資産税を取るようになったが、市は取っているのか詰めて頂きたい。 回答 ・ 具体的にまだ見ていないが、空き家の調査は県が請け負い、中心市街地を民間団体が調査している。後日対処状況を確認します。 ・ 危険空き家と登録されていると思いますので、後日報告します。

行政の担当部課	防災安全課・税務課
行政からの回答	該当空き家については、平成29年12月末に所有者によって取り壊されました。 家屋については、空き家か空き家でないかに係わらず、家屋として登録されているものに対して固定資産税が課税されます。（制度改正無し） また、特定空き家として勧告が行われた家屋の敷地（土地）については、住宅用の家屋の敷地（土地）について通常適用される固定資産税の特例措置が適用されなくなる改正がありましたが、適正に対処しています。

④

会場・項目	中津会場 ・ 少子化対策
会場での質問・回答	質問 ・ 各自治体でも子供がいない限界集落となっている状況。結婚されていない方、いろんな事情があると思うが出会える環境を考えて頂きたい。 回答 ・ 大変難しい問題で、結婚する前に働く場所が必要だと思います。企業誘致も進んでいるが、医療・教育が充実していないと住んで頂けない。そのためには、しっかり職に就ける対策を働きかけたいと思います。 ・ 少子化問題は難しく、議員だけでは解決できないことなので執行部に伝えておきます。
行政の担当部課	定住推進課
行政からの回答	市は少子化対策の一環として結婚活動を支援するため、「結婚相談所」を開設しています。利用は登録制で登録会員に対し月2回相談日を設け、結婚相談員による相談業務を行うほか、メール等でも相談支援を行っています。また、お見合いパーティー等も随時開催するほか、地域等で開催する婚活イベントにも支援を行い、出会える環境づくりに取り組んでいます。

⑤

会場・項目	中津会場 ・ 人口問題
会場での質問・回答	要望 ・ 合併して人口が86000人から80000人を切ろうとしています。財政規模も非常に厳しい状況となっている中で財政コストは大きくなっていると思う。原因は施設が多いと思いますが、指定管理等を含めてやって頂いているが、今後どうしていくのか。また、病院の繰り出しが大きいところを英断しないと財政規模・少子化を含めて厳しい状況になっていきますので超党派でビジョンを示して頂けるような活発な活動をお願いしたい。 回答 ・ 議会はもとより、執行部にも伝えておきます。
行政の担当部課	財政課・資産経営課
行政からの回答	人口が減少する中で多くの市有施設が老朽化しており、施設の維持管理及び改修には多額の費用を要し、財政を圧迫する要因となっています。 人口規模に見合った財政運営を行うためにも平成26年度策定した「市有財産（施設）運用管理マスタープラン実施計画」に基づき、小鳩保育園やク

	アリゾート湯舟沢の民間移譲などを行っており、今後も施設の維持管理費 6 億円の削減を平成 32 年度までに達成できるよう、再編等の前倒し実施はもとより、継続保全・検討中と位置づけられている施設の見直しも含め、実施計画の着実な推進に努めます。
--	--

⑥

会場・項目	落合会場 ・ 文化遺産の保存
会場での質問・回答	質問 ・ 昨日落合宿祭りを開催し、地域の皆さん、J R さわやかウォーク参加者の皆さんの多くの方が来てくれました。もう 22 年前から行っているが、本陣を核とした落合のまちづくりを目的にこの祭りを行っています。この本陣は市が買い取ってくれて、今落合のボランティアの方が一生懸命やってくれていますが、この 3 月に文化スポーツ部の方が来てくれ、地元の人にも裏の方まで見てもらった。建物は悲惨な状況で、台風が来ればいつ倒れてもおかしくない状です。国の史跡指定を受けているが、市に言ってもなかなか前に進まない状況です。議会としてどう考えているのか？ 回答 ・ 議会としてではなく私個人としての考えですが、この件について文化スポーツ部と話をしてきました。本陣は国の史跡指定を受けており、改修するには文化庁の指導を受けながら実施していくことになり、当然補助の対象にもなります。今中津川市で取り組んでいるのは苗木城山の石垣の修復で、同じく文化庁の補助をいただきながら実施しています。本陣の改修は 2～3 年の短期間で実施しなければならない事と、また計画では 5～6 億の改修費がかかるという事で、城山の石垣修復が終わった後すぐの実施をお願いしている状況です。改めて整理をしてもらい文化スポーツ部から回答をいただきたいと思います。
行政の担当部課	文化振興課
行政からの回答	回答された議員の説明のとおりですが、若干補足させていただきます。 本陣の整備については多くの費用を要し、市の財政事情もありますが、文化庁からの国庫補助もここ数年、予定する額から減額されているのが実情です。こうした中、両方の整備を並行し、整備予算を分散させてしまうと、計画が伸びていってしまう可能性が高くなります。特に苗木城は、石垣を外したまま土がむき出しになった期間が長いと、ただでさえ急斜面が多いので土砂崩れが発生し、予定外の費用がかかる可能性が高くなります。したがって、苗木城跡の整備計画は、平成 35 年度までの計画を予定通り終了させ、その後本陣の整備に掛かる旨、県や国と協議させていただいたというのが現状です。ただし、本陣は、国庫補助による本格的な整備を行わないかわりに、平成 36 年度まで建物を持たせるための補強をしていかななくてはならないので、毎年度若干の費用を見込んでいく旨を協議に盛り込んであります。具体的に、平成 29 年度では、母屋の式台から上段の間に入る部屋の床が下がって人の出入りを制限している範囲については、床下から支え、人が上段の間

	を見学できるように補強することと、皆さんが心配される裏の離れについては、建物を木枠で囲み、建物のひずみを矯正することで、強度を増し、損壊を防ぐ工事を行う予定です。離れについては、台風18号、20号の教訓から、文化庁の承認する主任技術者に現地を見てもらい、相談の上、工法を指導していただいて実施するものです。 本陣は、落合宿のシンボルということで、地域のみなさまがまちづくりに取り組んでおられることも承知をしておりますので、ご理解をお願いいたします。
--	--

⑦

会場・項目	落合会場 ・ 道路管理及び道路整備関連
会場での質問・回答	質問 ・ 馬籠から椿街道へ入る交差点ですが、旧道の下り勾配が強く、特に旧道から右折して椿街道に入る車が曲がり切れず、センターラインを割って入ってきて危険である。 回答 ・ 確かに勾配のある危険な交差点であり、市道ですので建設課へ伝えさせてもらいます。
行政の担当部課	建設課
行政からの回答	馬籠から椿街道に入るT字の交差点については、(仮称)神坂スマートインターチェンジが完成すると、大型車を含め交通量が多くなることが想定されるため、道路線形も含め交差点改良を検討していきます。

⑧

会場・項目	落合会場 ・ 健康増進
会場での質問・回答	質問 ・ 健康推進員が各地域にいるが、実際やっていることというと、健康福祉まつりのお手伝いとパンフレットを配るくらい。専門的な人が考え、健康寿命を延ばすためにこのことをやると良いということがあれば、そのことを健康推進員にお願いしてやってもらおうということとはできないか。 回答 ・ 今年の文教民生委員会の行政視察で新潟県の上越市へ行きました。上越市が良いのは、特定健診、特定保健指導の先進市ということで行きました。全国的に高齢化が進み医療費も増加していく中、特定健診、特定保健指導をすることで健康寿命を高めていく。そのことで少しでも医療費の増加を抑えていくことができ、特定健診、特定保健指導の目的で、そのことを勉強してきました。 健康寿命を高めていくために健康推進員の皆さんがなにをしたら良いかという事、健康医療課と健康推進員のあり方、役割について広めていきたいと思います。
行政の担当部課	健康医療課
行政からの回答	健康推進員は2年任期で健康づくりを地域に広める活動を行っています。1年目であるH29年度は、健康推進員自身の学習を行うと共に、特定健康診査の受診勧奨チラシの配布や、受動喫煙防止ポスターの自治会集会施設への掲示を区長さんをお願いしました。2年目であるH30年度は、学習した内容

	を基に支部毎に健康体操教室や減塩教室などを開催して、地域住民への普及活動を行っていく予定です。 現在、健康推進員の活動が地域住民に浸透していないという課題があるため、役割・内容については地域事務所や区長さんと相談しながら進めています。
--	---

⑨

会場・項目	坂本会場 ・ リニア関連
会場での質問・回答	要望 ・ リニアの見える丘公園は、道の駅という形になると思いますが、こういうものを造るかが大切であり、リニアの車両が近くで見える、避難場所になる、物産展などのイベントや D 5 1 など展示ができる内容となるように推進してほしい。 回答 ・ 議会としても推進していきたい。執行部に伝えます。
行政の担当部課	リニア対策課
行政からの回答	リニアの見える丘公園につきましては、平成 2 6 年度より『道の駅「リニアの見える丘公園」（仮称）整備促進協議会』において検討を行っております。 具体的な整備内容は今後の検討になりますが、観光振興、産業振興、移住・定住に関する情報発信機能、防災機能などを兼ね備えた地域の拠点となる様、検討していきたいと考えています。

⑩

会場・項目	坂本会場 ・ 農地関連
会場での質問・回答	質問 ・ 市道 1 2 8、1 9、1 0 0、8 8 号線周辺の農地が活用されず宅地として安く売買され、2 1 軒の家ができている。賑やかになっても道路の整備はされず、交通量だけ増えている。農業の担い手も減っている。耕作すれば赤字の田を手放したい人が増えており、農地を残す方法はないのか。 回答 ・ 他の地域も同じ状況であります。地域の集落営農組織を作るか、中間営農組織（農業の請負組織＝中間管理機構）へ営農を委託する方法が良いと考えます。集落営農組織も高齢化し、運営が厳しくなることもあり、中間営農組織への委託が効果的と考えます。道路については、リニア関連で交通量も増えることが予想され、道路計画の見直しが考えられると思います。 ・ 市道が狭い中、宅地が増えています。中津川市にも宅地開発条例ができていますが、県の開発条例と比べても甘いところがあり、条例の見直ができるかどうか検討をしてもらいながら、良い街づくりには必要なことであり、しっかり行っていきたい。農地についても、執行部や農業委員会に検討するよう伝えます。
行政の担当部課	農業委員会事務局・管理課
行政からの回答	現在、農地中間管理事業として農地中間管理機構、県、市、J A、農業委員会などが協力して、農業の担い手の登録と共に、継続して農地の出し手と

	借り手のマッチングを図っています。また、同事業の一環として各地で農地相談を行っておりますし、今後は農家へのアンケートなどを通じて農地の利用集積を図って行きたいと考えております。 宅地開発条例ではなく、中津川市宅地造成事業に関する指導要綱として1,000 m²以上の建築を供する造成事業に対しては、開発許可ではなく関係各課が協議を行っています。 また、条例化をした場合は、個人の住宅建築などに対する規制も厳しくなることから、慎重に検討することが必要と考えております。
--	--

⑪

会場・項目	福岡会場 ・ 太陽光パネル
会場での質問・回答	質問 ・ 太陽光パネルの件は、問題解決になっていない。1,000 m²以下の小規模な所は連絡先が不明。道路に崩れた泥や草が生えている等々、市の方で対応してくれるのかどうかである。 回答 ・ 中電の方へも足を運びましたが、小規模施設については個人情報に盾に教えてくれない。行政の方に対応するようにお願いしている。引き続き要望していきます。
行政の担当部課	管理課・環境政策課
行政からの回答	1,000 m ² 未満の設備設置につきましては、書類提出の必要がございませんので、工事業者への指導はできません。ただし、公共施設への土砂流出等の事案が発生した場合には、現地へ出向き、状況を確認した上で、指導・助言を行うよう努めてまいります。

⑫

会場・項目	福岡会場 ・ 地域交通
会場での質問・回答	質問 ・ 互助交通への援助を行っている団体です。バスの乗り降りの時段差があつて大変。デマンドタクシーにて対応して欲しい。住みよい町づくりの観点から話し合って頂きたい。 回答 ・ 後日回答させていただきます。
行政の担当部課	定住推進課
行政からの回答	福岡地区コミュニティバス（ほっとバス）は他地区と比べ、比較的用户が多く、1便に5人以上乗車されることも少なくありません。そのため、現在のコミュニティバスをタクシーによるデマンド運行とした場合、利用者が乗車できない、予約の手間が増えるなど、利便性が低下し利用者の減少に繋がる恐れがあります。今後も必要に応じて見直しを行い、利用者の利便性向上に努めます。また、車両を更新する際には、乗降に係る負担が軽減される車両にするよう配慮します。

⑬

会場・項目	福岡会場 ・ 介護ボランティアポイント制度
会場での質問・回答	質問 ・ 飛騨市のような、ボランティア活動にポイント制をお願いしたい。 回答 ・ 後日回答させていただきます。
行政の担当部課	高齢支援課

行政からの回答	本来のボランティア活動は対価を伴わないものとの基本的な考えですが、ボランティア活動促進の手法としてのポイント制度の活用については、他の自治体での取り組み状況を情報収集し研究してまいります。 また、市内でのボランティア活動や生きがいづくり活動は様々であり、既存のボランティア団体や老人クラブ、シルバー人材センター等の活動もありますので、既存の活動団体と連携し活動促進をすることも重要と考えています。
---------	--

⑭

会場・項目	蛭川会場 ・ リニア関連
会場での質問・回答	質問 ・ リニア関連事業である中部電力の送電線及び鉄塔の敷設について、生活している頭上を環境破壊し、有害と言われている電磁波を発生させる施設を設置することに対して、事業推進に向けた中部電力のやり方と、その事業に対する行政の対応に不信感と不満を持っている。中津川市の考え方を聞きたい。 回答 ・ 計画について、ルートを示し調査に入るとの説明は昨年あったが、その後どのような状況で市民説明が進められているかの報告は受けていない。 リニア路線、岐阜県駅、車両整備基地は決まっており、高圧の電力が必要とされる。どこからどこを通して電力を送るかは、中部電力・ＪＲ東海及び利害関係者での協議で決定されるものです。 進め方に不信感・不満をお持ちなので、中部電力やＪＲ東海に対話集会で話が合ったことを市の担当部局に伝えます。
行政の担当部課	リニア対策課
行政からの回答	中部電力が計画している送電線及び鉄塔の敷設につきましては、ＪＲ 東海から電力供給の申し込みを受けた中部電力が、関係地域や地権者のご理解をいただき実施するものと考えています。 中部電力には関係地域に対し丁寧な説明を行い、ご理解をいただきながら事業を進めるよう求めています。

⑮

会場・項目	蛭川会場 ・ リニア関連
会場での質問・回答	質問 ・ リニアによる便利さだけを追求するのではなく、逆に、不便さ・車両の少なさを利用し、恵まれた自然環境を活用した事業・自転車ツーリズムを提案します。中津川市で事業化される考えはないか。 回答 ・ 逆転の発想については共感します。自転車ツーリズムは根ノ上高原で実施しています。担当部局に検討するように議会として要望します。
行政の担当部課	観光課
行政からの回答	観光推進の課題として、旅行客が中津川市に長く滞在していただくことが大きなテーマとなっています。御提案いただきました自転車ツーリズムは、体験型観光の推進策として効果的な取り組みと考えます。

	自転車ツーリズムは市内の他地区ですでに取り組んでいるところもありますが、観光推進には地元のおもてなしを含めた受け入れ態勢が必要不可欠なところです。地域の受け入れ態勢の整え方等を地域と一緒に進めていければと考えます。
--	--

⑩

会場・項目	蛭川会場 ・ 行政の職務一般
会場での質問・回答	質問 ・ 市が事業を行う場合、職員は目的を達成するように事業を行っていると思うが、自己満足のために事業を行っていると思えない事例があった。 各地区で市民も参加してウォーキングコースが設定されたが、そのあと設定されたコースの紹介も市民にされていないし、活用についてもなんら指導もない。何度もコース設定に参加し、真剣に取り組んだにも関わらずその成果が無となっている。コースを創るというだけの担当者の自己満足の事業としか受け取れない。目的と責任を持った仕事をしてほしい。 また、ある会議でリニア推進のボールペンとピンバッジが配布されたが、今中津川市では、リニア推進を啓発宣伝する時期は過ぎており、開通に向けての対策に取り組まなければならない大事な時であると思う。この事例も、あるものを配布すればそれで片付くという安易な事業への対応である。これも仕事をただ単にこなすという自己満足の仕事ではないか。 議会として職員の動向を把握し、指導をして頂きたい。 回答 ・ 職務の基本です。ウォーキングコースの件は不適切であり、職員は仕事に対して「何のためにやっているか」という点を含め、今一度原点に返り対処するよう、執行部に伝えます。
行政の担当部課	生涯学習スポーツ課・リニア対策課
行政からの回答	当課では、スポーツに親しみ楽しむ市民を増やすために、地域の皆さんが身近で気軽に取り組める運動・スポーツとして、ウォーキングを楽しめる環境の整備に努めており、平成 28 年度から毎年 4 地区で地域の方のご協力を頂きながら、各地区のコース設定に取り組んでいます。 コースのお披露目イベント等を実施し、コースの周知をしてきましたが、ご指摘のようにコース設定を主にした事業展開になっていたことは、否めません。 今後は、設定して頂いたコースについて、本来の目的「スポーツを親しみ楽しむ市民を増やす」を見据えて、多くの市民に活用して頂ける仕組みづくりに取り組みます。 リニア中央新幹線まちづくり推進中津川市民の会では、リニア中央新幹線を活用したまちづくりを推進すると共に、開業に向け市民の連帯感を醸成する活動を行っております。 リニアのまちづくりには市民の皆様のご理解とご協力が必要であり、お配

	りしたボールペンやピンバッジは、その活動の一環として作成したものです。
--	-------------------------------------

⑪

会場・項目	蛭川会場 ・ 定期バスの運行
会場での質問・回答	質問 ・ 蛭川への定期バスの運行が朝及び夕方の便が廃止されて、通学、通勤に不便が生じている。市として早急に対処していただきたい。 回答 ・ 利用が少ないことに起因する東鉄バスの対応です。市も承知していますので、地域で望む方法を早急に検討するよう担当部局に伝えます。
行政の担当部課	定住推進課
行政からの回答	民間事業者のバス路線であり、市としてバスを運行することは困難です。また、路線バスの減便に対するご意見は、運行事業者にも伝えていきます。路線バスの減便は、利用が少ないことに起因しており、存続のためには多くの方に利用していただくことが必要です。なお、運行時刻等に対するご意見等がございましたら、今後も運行事業者へ伝えさせていただきます。

⑫

会場・項目	蛭川会場 ・ 太陽光発電
会場での質問・回答	質問 ・ 太陽光発電施設が住居に近いところに設置される。設置業者は地域に対して設置説明さえすれば、地域の承諾がなくても市の指導により事業を行うので、詳細は市への届け出書等を閲覧してくれとの強い態度で接してきた。利害関係者の権利を守るために、市はもう少し強い態度で業者を指導していただきたい。 回答 ・ 要綱から条例へと強化する体制を整えた。この案件については、担当部局に確認します。
行政の担当部課	管理課・環境政策課
行政からの回答	再生可能エネルギーの関連法に抵触しない範囲で、「中津川市自然環境等と再生可能エネルギー発電事業との調和に関する条例」を制定しました。その中で、防災設備等の設置をはじめ、自治会及び近隣関係者に対して事業計画について十分説明し、事業区域の周辺の住民との良好な関係を保つことに努めるよう事業者をお願いし、ご理解いただいている状況です。太陽光発電設備の設置を規制する法律は無いことから、指導の強化は難しいと考えておりますが、地元住民との相互理解に努め事業を進めるよう事業者に対応を求めてまいります。

⑬

会場・項目	蛭川会場 ・ 女性の勤務場所確保
会場での質問・回答	質問 ・ 婚活事業を区長会で実施しているが、中津川市に女性が勤務する場所が非常に少ないために女性が集まらない。行政として若い女性が勤めることができるような就業対策をとっていただきたい。 回答 ・ 市でも調査をしています。若い女性がどうすれば中津川に残ってい

	ただけるかを行政として検討し、議会としても考えていきます。
行政の担当部課	工業振興課
行政からの回答	平成 29 年 3 月卒の市内高校の女性の就職率は、38.8%で、その内市内就職者は、47 人、43.5%となっています。(ハローワーク調査) 現在若者や女性が魅力を感じ、選択肢を広げることが出来る新たな産業の誘致に取り組んでいます。

⑳

会場・項目	付知会場 ・ 病院関連
会場での質問・回答	質問 ・ 市民病院の車椅子が少ない。予算の許すかぎり新調してほしい。 回答 ・ 執行部に伝えます。
行政の担当部課	総務人事課（市民病院）
行政からの回答	現在、市民病院の車椅子は必要な場所に約 1 3 0 台配置しています。車椅子については、購入や寄贈により年々増えているところですが、今後も不足する場所には順次購入し整備してまいります。

㉑

会場・項目	付知会場 ・ 病院関連
会場での質問・回答	質問 ・ 坂下病院の現状と今後についてと、市民病院の特定健診は長くかかるので特定健診を坂下病院に残してほしい。 回答 ・ 坂下病院の現状は、刻々と悪化しています。医師は減っており、救急搬送も行っていない。名古屋大学は坂下病院への医師の派遣を行わない方針であり、大変厳しい現状です。今後は、12 月に見直しを行います。特定健診は、坂下病院で行わない事は決定していませんが、常勤の医師がいなくてもできますので議会からも要望します。
行政の担当部課	総務課（坂下病院）
行政からの回答	現在、中津川市新公立病院改革プランの取り組みを進めていますが、坂下病院の健診事業（特定健診を含む）につきましては、実施可能な範囲で継続します。実施可能な範囲は、今後の坂下病院の医療機能や医師、その他スタッフの状況により変更することがあります。

㉒

会場・項目	付知会場 ・ 観光
会場での質問・回答	質問 ・ 王滝村との交流を民間で行っているが、王滝村との観光ルートを考えて欲しい。 回答 ・ 王滝村との道路については、首長会・議長会でも検討されています。広域観光として考えていく方向で、執行部に働きかけをしていきます。
行政の担当部課	観光課
行政からの回答	王滝村との交流促進は現在民間を中心に進められており、先々広域観光として発展させることも構想として描いておられるところだと思います。

	王滝村へ行く現ルートでは、森林管理署管理の道路を許可を受けて通過しなければならないことや、県道が未整備であること等から、観光ルートとして設定することは困難と考えます。
--	---

②③

会場・項目	阿木会場 ・ ゴミ問題
会場での要望・回答	質問 ・ 高齢者が多く、ごみを出すのにも困難なため、ごみ置き場をもう少し増やしてもらいたい。 回答 ・ 地域負担でゴミ置き場を作って頂き、市の方へ要望してもらおうと良いと思いますが、規定などがどうなっているのか、行政に問い合わせ、改めて答えさせていただきます。
行政の担当部課	環境センター
行政からの回答	高齢者の方などごみを出す場所に配慮する必要がある場合は、ごみの収集が可能な場所であればゴミステーションの場所を変更するなど対応させていただきます。 ゴミステーションの設置基準は、収集車や人員などの物理的な側面から、可燃ごみについては、概ね20世帯に1か所、不燃ごみ・資源ごみについては、概ね50世帯に1か所とさせて頂いています。 ゴミステーションの新設、変更等につきましては、ゴミステーションの管理を地域の皆様で行っていただいていることから、管理面など地区でご検討いただき、地区の代表の方を通じて環境センターまでご相談ください。

②④

会場・項目	阿木会場 ・ ゴミ問題
会場での要望・回答	質問 ・ 明知鉄道の阿木駅前のゴミ置き場に違うゴミ袋で出す人がいます。駅前であるがゆえに色々な人が通るので防犯の面からも安全のために防犯カメラの設置をお願いしたい。 回答 ・ 阿木地区の区長会長から市に要望書を出して頂きたい。市には話をしておきます。
行政の担当部課	環境政策課
行政からの回答	今年度から不法投棄の抑止と発見した場合の指導等を行うことを目的として、移動式監視カメラを一定期間設置する取り組みを始めました。移動式監視カメラの設置は、自治会等から申請があった場合に行います。手続きの詳細については、環境政策課までお問合せください。

②⑤

会場・項目	阿木会場 ・ ゴミ問題
会場での要望・回答	質問 ・ 国道沿いのゴミ置き場に他地区（恵那市）と思われる人たちがゴミを置いていき、大変困っています。袋は中津川市で買っているようで、こんなことはいいのでしょうか。 回答 ・ それは大変おかしいことだと思います。人としてのマナーだと思いますが、担当課の方に問い合わせて答えさせていただきます。
行政の担当部課	環境センター

行政からの回答	ごみステーションの管理につきましては各地域の皆様のご尽力を頂きありがとうございます。 中津川市指定のゴミ袋は販売店で誰でも買え、ごみを出す方の良識をお願いしなければならないのが現状です。 不法投棄禁止看板の設置、ごみステーションごみ出しマナー掲示板の提供等もできますので担当課（環境政策課）までご相談ください。 今後も引き続きご協力をお願いします。
---------	--

②6

会場・項目	阿木会場 ・ 防災無線
会場での要望・回答	質問 ・ エリアトーク（戸別受信機）の補助金での対応は出来ませんか。 回答 ・ 市の補助金は難しく、これも各区の対応だと考えますが、これも後の回答とさせていただきます。
行政の担当部課	防災安全課
行政からの回答	エリアトーク戸別受信機の購入は補助金の対象となっており、補助金額は、次のとおりです。 ・ 難聴区域世帯 10/10 補助（申請者と地区役員と市職員三者が立会い、玄関の外でサイレンが聞こえないと判断した場合） ・ 土砂災害特別警戒区域内世帯 1/2 補助 ・ 満 80 歳以上の独居世帯 1/2 補助 （補助金額の上限：戸別受信機 28,000 円、アンテナ 20,000 円）

②7

会場・項目	阿木会場 ・ 移住定住
会場での要望・回答	質問 ・ 移住定住が現状ではうまくいっていないと思います。それは色々な規制があり、せっかく住みたいと思っても土地がない。こんなことでよいのか。 回答 ・ 最初の計画が甘かったと思います。農振などの緩和を含め、執行部へ提案して参ります。
行政の担当部課	農業振興課
行政からの回答	農業振興地域からの除外及び農地転用については、法により規制されていますが、農振除外と農地転用の要件にあてはまる農地もありますので、具体的な案件によりご相談いただきたいと思います。 農振除外と農地転用については、農地以外の利用目的があり行うものとなっており、必要性や代替性、緊急性など除外要件の基準に照らし合わせ判断を行うことになります。

②8

会場・項目	阿木会場 ・ 地籍調査
会場での質問・回答	質問 ・ 地籍調査を早くやって頂きたい。 回答 ・ 阿木地区は遅れていると思います。予算との兼ね合いもありますが、執行部へは伝えます。
行政の担当部課	地籍調査室

行政からの回答	中津川市全体で 43%、旧市内で 9%弱の進捗率となっております。 地積調査は、多額の経費と期間を要する事業でありますので、補助金の獲得状況、地域間バランス等を考慮し計画的に実施してまいります。
---------	---

②9

会場・項目	苗木会場 ・ 苗木の水道の耐震化
会場での質問・回答	質問 ・水道の耐震化について、平成 22 年頃、落合で発言した記憶がある。苗木地区の水道の耐震化がどうなっているか聞いたが、それっきり返事もない。教えてほしい。 回答 ・後日、担当課から返事をさせます。
行政の担当部課	水道課
行政からの回答	水道の耐震化率(H29.3.31 現在)は、市全体で管路(主要管路 φ 50 以上) 7.8%、配水池 70.9%です。それに対し、苗木地区(苗木第 1 配水池・苗木第 2 配水池系)は、管路 4.8%、配水池 100.0%となっています。 管路の耐震化は、「布設年度」や「管路口径」を考慮し優先順位をつけて限られた予算の中で計画的に行っております。但し、コスト削減を図るため、他事業(下水道事業、道路改良事業等)に関連する路線を優先し事業を推進しています。 苗木地区の管路は他の地区より布設年度が比較的新しいため、現在は苗木地区で耐震化事業は行っていない。

③0

会場・項目	苗木会場 ・ 津戸のゲートボール場
会場での質問・回答	質問 ・地元で管理している。管理費を出してほしい。市は苗木浄水公園の管理も合わせてするように言っているが、そこまではできない。他の地域では出ている。 津戸で行うにはどのように要望したらいいのか。何故指定管理の枠の中に入らないのか？その是非は誰が何処で決めるのか。ルールはどうなっているのか知りたい。昨年からの回答になっていない。 回答 ・持ち帰って、行政に伝えます。
行政の担当部課	生涯学習スポーツ課・管理課
行政からの回答	当該施設は、公園の設置条例により設置された「苗木浄水公園」の公園施設として位置づけられており、管理費について、地元区長会と調整中です。 現在、清掃等委託業務について、苗木浄水公園ゲートボール場 管理者代表の方と調整しています。 本公園は、小規模な公園で有料施設もなく、自主事業の計画が難しいため、指定管理による管理運営は困難と考えます。

③1

会場・項目	苗木会場 ・ 子ども公園遊具の管理
会場での質問・回答	質問 ・撤去ではなくて、遊具は必要なので、市で管理してほしい。 回答 ・行政に伝えます。
行政の担当部課	生涯学習スポーツ課

行政からの回答	市が管理する遊具は、市の公園に設置された遊具です。 ちびっ子（子ども）広場の遊具は、地域が管理を行うものとして、地域の要望により設置されたものであるため、管理は地域で行って頂いております。 平成 21 年には、ちびっ子広場の木製遊具で遊んでいた小学生が遊具の不良により大怪我を負い、当該遊具はその後撤去されたという事故が発生しております。 近年では、遊具の老朽化により地域から撤去を求める声もあり、市では撤去経費の一部（5 万円を上限額）を補助しています。
---------	--

③②

会場・項目	苗木会場 ・ 苗木公民館の指定管理
会場での質問・回答	質問 ・ 苗木まちづくり推進協議会が指定管理を受けることになっている。今までの公民館活動では不十分。指定管理を受けて、まちづくりの一環として公民館活動を充実・発展させたい。公民館は社会教育の一環。ひとづくり・地域づくり・安全防災の 3 つが社会教育の柱になっている。これらのことをすすめるにはマンパワーが必要。必要な人件費を見てほしい。 回答 ・ まちづくり協議会と議員も一緒になって、それぞれの話を聞きながらすすめていきたい。一度話し合う場をセットしていただきたい。それを行政に伝えます。（苗木議員団担当予定）
行政の担当部課	生涯学習スポーツ課
行政からの回答	公民館活動を充実・発展させていくことは、地域づくりや人づくりを進めていくうえで大変重要なことと認識しておりますので、そのために必要な予算を確保できるよう努めてまいります。

③③

会場・項目	苗木会場 ・ リニアについて
会場での質問・回答	質問 ・ リニアはいいことだと思う。しかし上地はリニアで地域が分断されてしまう。トンネルと木曽川橋梁が建設される。今後 10 年間はトラックの通行で住民に負担。その後リニア開業すれば、振動・騒音、軌道の下は外来植物。負の遺産しか残らない。 上地、瀬戸、山の田にとってリニアがまちづくりにとってプラスになるように、行政に働きかけてほしい。 回答 ・ 行政に伝えます。
行政の担当部課	リニア対策課
行政からの回答	工事車両の通行における地域住民の皆さまへの負担軽減のため、代替生活道路の整備について J R 東海に検討していくよう求めています。 工事中および完成後における騒音、振動については環境基準を遵守するよう求めています。

③④

会場・項目	苗木会場 ・ リニアについて
会場での質問・	質問 ・ 苗木城からリニアの橋梁が見えるが、フードで見えない。観光資源

回答	にしたい。ぜひ行政に働きかけてほしい。 回答 ・担当部局に働きかけます。
行政の担当部課	リニア対策課・観光課
行政からの回答	平成28年8月24日付で苗木城跡・苗木遠山史料館友の会会長より市長あてに要望書をいただき、平成28年12月8日苗木遠山史料館において友の会、J R 東海、中津川市（文化振興課、観光課、苗木事務所、リニア対策課）の3者による意見交換会を開催しました。 J R 東海からは、社内の検討委員会において検討を継続しているが、現状では透明化の約束はできないとの回答がありました。 この件に関しましては、引き続きJ R 東海に対してお互いに連携して要望していくことが大切であると考えております。

③⑤

会場・項目	苗木会場 ・ 上水道の危機管理
会場での質問・回答	質問 ・東濃用水と福岡上水道が高山でつながっている。同じように下野・上野とつなげば坂下にもつなぐことができ、恵北一円とつながる。危機管理として大事なことだと思うのです。ぜひお願いします。 回答 ・行政に伝えます。
行政の担当部課	水道課
行政からの回答	現在、市（水道課）において、合併後、中津川市各地域に点在する多数の水道施設の維持管理等を含め施設の統廃合縮小等の計画策定を行っています。また、水道管の配管状況等管網解析を行っています。 それぞれ隣接する地域間で水道をつなげるためには、それぞれの配水池（水道水を貯めるタンク）の容量、給水区域に対する配水量、高低差、水压など、さまざまな調査が必要です。調査結果をふまえて、順次計画を進めて行きたいと思っております。

③⑥

会場・項目	坂下会場 ・ 病院関連
会場での質問・回答	質問 ・人口減少でも高齢者が増えるので、坂下病院のベッド数を減らすというのはよくわからない。どのような根拠なのか。また、介護対象者の介護施設への入所待機者も多い中、在宅医療を進めていくという方針であるが、その対象人数を教えてください。 回答 ・執行部の回答することであり、数値的なことも含め、あらためて報告します。
行政の担当部課	企画経営課（市民病院）・高齢支援課
行政からの回答	超高齢化社会を迎える中で、国の医療政策は、慢性疾患は一般病床ではなく回復期病床や慢性期病床、更には介護施設や在宅医療で対応する方針です。高齢者が増えるから病院のベッド数（一般病床）が必要という考え方は変わっており、公立病院の経営を安定させ、持続的な医療提供を確保するためには、病院事業に国の医療制度改革を反映させていく必要があると考えております。

	坂下病院のベッド数を減らすことにつきましては、平成 29 年 4 月現在で 2 病院の合計病床数は 559 床（市民病院 360 床：うち一般病床 360 床、坂下病院 199 床：うち一般病床 149 床）ですが、平成 28 年度の 2 病院合計の 1 日入院患者数（一般病床）は約 310 人であり過剰な状況にあります。また、平成 32 年度における 2 病院合計の 1 日入院患者数（全病床）も約 350 人と推計されていますので、坂下病院の一般病床を減らしても入院患者様の受入れは十分可能と考えております。 中津川市の在宅医療対象患者数を正確に把握することは難しく、調査できておりません。 岐阜県地域医療構想においては、東濃医療圏の在宅医療等患者数を平成 25 年の 3,481 人から 2025 年（平成 37 年）には 968 人増加し 4,449 人（1.3 倍）になると推計しています。中津川市においても同等かそれ以上の増加を想定しておく必要があると考えます。 また、市全体で H29 年 9 月に訪問診療を受けた方は 162 件となっています。 なお、中津川市の H29 年 4 月時点の要介護等認定者のうち居宅サービスを利用している要介護 3～5（重度認定）の認定者数は 812 人となっています。
--	--

③⑦

会場・項目	坂下会場 ・ 病院関連
会場での質問・回答	質問 ・熊本地震では、病院の水タンクが壊れ営業できなくなり廃止された。市民病院は、このことに対して今後どうしていくかお聞きしたい。 回答 ・熊本地震に対する回答は、執行部から回答します。
行政の担当部課	総務人事課（市民病院）
行政からの回答	現時点で 2 つある受水槽の倒壊について想定していないため、具体的な対応方法は検討しておりませんが、ご指摘いただきました内容を踏まえ、先進事例等を参考にしながら検討させていただきます。